

(様式3)

令和元年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市明野児童館	所在地	伊勢市小俣町新村399-3
指定管理者名	社会福祉法人 宮山	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
設置目的	児童の健全育成を図るため、児童福祉法の規定に基づき放課後児童健全育成事業を行う。		
業務内容	1.運営及び事業に関する業務(放課後児童クラブ事業、入退会に係る手続き・承認等、利用者負担の徴収等、施設開放) 2.管理に関する業務(伊勢市明野児童館の施設維持管理) 3.その他の業務(管理上必要と認める業務)		
施設概要	施設面積(延べ床面積)283.03㎡、鉄筋コンクリート造2階建て 施設内容:遊戯室、集会室、図書室、事務室、炊事室、玄関ホール等		
職員体制	館長を含め指導員15名		
施設所管課名	子育て応援課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	18,996,000	15,352,000	19,944,600	4,592,600
	利用料金	4,133,000	4,095,772	3,849,334	△ 246,438
	その他	75	133,168	131,815	△ 1,353
	計(a)	23,129,075	19,580,940	23,925,749	4,344,809
	支出				
	人件費	19,271,231	15,872,041	20,031,271	4,159,230
	管理運営費	3,641,553	3,418,347	3,309,241	△ 109,106
	その他	0	583,953	550,000	△ 33,953
	計(b)	22,912,784	19,874,341	23,890,512	4,016,171
収支差引額(a)-(b)	216,291	△ 293,401	35,237	328,638	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	放課後児童クラブ事業においての障がい児童受入を行ったため、これに伴う障がい加配(指定管理料収入)が増加した。
----------------------------------	--

3 評価(別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none">・業務計画書に従い管理運営を行った。・児童館は遊びを通して心身の健全な育成を目指す場であり、地域の子育て拠点として利用されている。遊びを通じた活動を通じて、仲間づくりや規範意識の構築に寄与できたと感じている。・児童館活動や放課後児童クラブ活動は、児童に年齢に応じた体験や創造力が身につく活動として、月1回の工作教室を開催し、毎回好評であった。仲間づくりや協調性を養う活動としては、プレイ(集団遊び)、チャレンジ(目標を立てて、個々の能力を高める取り組み)に加えて、レッツ・ラン(走ることを主体として取り入れた遊び)も創設して活動の充実に取り組んだ。・地域の小学校、保育園等に児童館だよりを配布し児童館活動の広報に努めた。・保護者アンケートを実施し事業の改善に努めることとした。	<p>施設の管理については適正に行われていた。運営についても、工作教室など小学生や乳幼児向けの行事を適宜行い、児童館の役割を担っている。</p> <p>また、健康・体力の増進に向けた活動を行いながら遊びを通じて集団的な行動が出来るよう様々な遊びを創設し、利用する児童が楽しんで活動できるよう工夫を凝らした運営が行われていた。</p> <p>施設特有の児童の行動観察の難しさがあるが、安全管理の意識が高く、適切に職員の配置を行い、児童の事故を未然に防いでいる点についても大きく評価できる。</p> <p>今後も様々な取り組みを継続していただき、より質の高いサービスが提供できるよう期待したい。</p>

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を確実に理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	管理運営を通して、施設の目的である児童の健全育成に資することができたと考える。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成している。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	新型コロナウイルス感染防止のため3月は臨時閉館があったが、2月末での前年度比較では585人の利用者増であった。さらなる事業改善や新企画による利用者増を目指したい。	A	新型コロナウイルス感染防止のため3月に臨時閉館があったが、通年で目標数を上回る利用者があった。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	3月の新型コロナウイルス感染防止のための臨時閉館を除けば、当初の計画通りの供用日数・時間を達成できた。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。また、警報発令時や新型コロナウイルスの感染防止対策期間については臨時休館にするなど、適切な運営がなされた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	児童館担当職員・児童クラブ指導員の業務内容を明確にし、館長の下、主任・副主任を配置するなど適正、適切な配置・勤務ができるよう努めた。	A	現場責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制としても効率化を図りながら、業務が滞らないよう行うことができた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	確実に毎月の管理業務報告書を提出できた。また、こども課とも連絡を密にし、業務の遂行に努めた。	A	報告・連絡・相談等、速やかに連絡を行い、意思疎通を図っていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	事業計画書、点検記録等整備され保管されている。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	児童館行事を通して地域の方々と交流を企画したが、目的が達成されたと感じていない。児童館行事を地域住民と一体となるような新企画の必要性を感じる。	A	地域の方々と積極的に交流を行っており、地域の振興を図っていた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	利用者については受付簿に確実に氏名、学年、住所、利用時間等の記録を取った。不審者対策として、大人の利用は幼児引率の場合に限定して許可した。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	本部・事務局と連携し帳簿等の作成を行った。口座引き落としが出来なかった場合は、保護者に文書通知し、現金で納入してもらった。利用料の未収は1件もなかった。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の管理等は主任が中心となり、安全・確実な保管に努めた。外部への持ち出しは原則禁止した。	A	担当係を選任し、個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、情報流出防止に努めている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	職員全員が、放課後児童クラブ運営指針に基づく、児童福祉法等関係法令の遵守に努めた。三児連主催の研修会等へも積極的に参加した。	A	法令違反は見受けられない。

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	B	工作教室と将棋教室を毎月1回実施し、好評であった。児童に健全な遊びを通して仲間づくりや規範意識の向上を図るために、プレイ、チャレンジ、レッツ・ランなどの内容等を創意工夫し、利用者数の増加をはかった。今後も、児童館事業の創意工夫に取り組みたい。	A	児童館の目的に即したイベント・取り組みを創設し、施設利用者の満足度向上に努め利用者数の増加に寄与した。
	②利用者の平等な利用	B	児童への個別の対応や施設の利用等にある程度の基準を設けて共通理解をはかった。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	B	毎月、地域内の小学校、保育園等に通信を配布し情報の提供を行った。	A	引き続き、利用者の増加を図るための効果的な情報提供を検討されたい。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルを使用するような事態の発生はなかった。しかし、児童が犠牲となる事件事故を想定した、不審者対策に重点を置いた訓練の実施も行った。地震・津波等については毎月避難訓練を実施した。通報訓練も実施できた。	A	毎月避難訓練を実施し、緊急時の確認を行っている。
	⑤苦情解決体制及び対応	B	運営に対する大きな苦情や問題指摘はなかったが、児童どうしのトラブルによる教育相談件数は数回あった。主任が内容を聞き取り、館長が苦情対応責任者として理解を得られるように迅速に対応した。しかし指導員の指導力には差があり、指導員の対応に不満を持つ事案もあった。指導員の問題解決能力の向上を図りたい。	B	適切な対応ができる体制ができており、苦情の際にはすぐに市への報告もあった。指導員の能力向上は引き続き努められたい。
	⑥自主事業	B	多様な利用者に対応できるように毎月種々の企画行事を実施した。特に工作教室や将棋教室は人気が高く、毎回参加希望も多い。走ることを主体とした遊びのレッツ・ランを新企画事業として意見を取り入れた。地域の子どもたちに好評の映画会も実施した。	A	ニーズを把握し、事業の改善を行い新たな事業を検討し、次年度以降の取り組みに活かしている。
	⑦事業の評価	B	管理事業報告作成時に必ず当月事業内容の振り返りを行い改善点等の確認を行った。特に事業内容が児童館活動の趣旨や目的に照らして、質の高い活動となるよう継続的に改善に取り組んだ。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われ、利用者のニーズに対応している。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的な施設の安全点検等を行い毎月報告した。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	B	備品は丁寧に扱い、保守等適切に行った。児童への使い方指導は、その都度確実に指導した。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	異常が認められた時は記録し修繕等行うと共に、市の担当課に報告した。女子児童の増加による個室トイレの増設工事や駐車場道路面のデコボコによる水たまりの改修工事を行った。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。また、昨年度の報告に基づきトイレの整備等も行った。
	④清掃業務	A	館内は高所を除き、毎日清掃を実施し、児童が快適に過ごせる環境作りを努めた。児童の床拭き清掃活動もほぼ毎日行っている。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵は定められたところに管理し施錠は指導員が確実にを行い、退館の際の最終確認は主任、館長が行った。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。